TTC 提案山行実施記録表　　2010 年 8 月 14 日　報告者：坂本 達治

山行名	**岩菅山**　[2,295m　長野県]　　北ア五色ヶ原～薬師岳山行の代替え山行
実施日	2010 年 8 月 10 日[火]～12[木]　2 泊 3 日　　マイカー2 台利用
天候／参加人員	天候 8/10:曇り後雨(雷雨)、8/11:曇り一時雨、8/12:曇り時々雨　レベル：★★ 参加人員：7 名（男 2 人/女 5 人)、申込み:7 名⇒実行:7 名
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	計画：　CL:　SL:　会計: 救護：　写真：　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　　氏　名　削　除
参加メンバー	氏　名　削　除
費用(一人当たり) **¥28,700** TTC ｶﾝﾊﾟ金 **¥1,425**	ﾏｲｶ使用料(700km*@10*2 台):¥14,000、ﾄﾞﾗｲﾊﾞ謝礼(@5000*2.5 日*2 台):¥25,000、燃料代@130*(700/8+700/5):¥29,575、高速道路代(往路[相模湖-小布施]:¥4,150+復路[長野-相模湖]:¥3,850)*2台:¥16,000、有料道路代(¥100*2台):¥200、小布施駐車料(¥300*2台):¥600、善光寺駐車料(¥500*2台):¥1,000、宿泊料(熊ノ湯温泉硯川ﾎﾃﾙ(@7,000+@7,800)*7名):¥103,600、入湯税(¥150*7名*2日):¥2,100、東館山ｺﾞﾝﾄﾞﾗ代(¥800*7名):¥5,600、通信費:¥1,000、その他(桃購入費):¥800、TTC ｶﾝﾊﾟ金:¥1,425⇒総額:¥200,900

歩行・行動時間

岩菅山	歩行時間	休憩時間	行動時間	
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	6:30			
計画	6:30	2:00	8:30	
実行	5:20	1:30	6:50	マイカー総走行距離:696.3km

実行コースタイム記録

[昼食]　〔登下山口下見15:35-16:10〕

8/10[火] 厚木発＝＝談合坂SA＝＝梓川SA＝＝小布施市街見学,観光＝＝志賀高原 熊ノ湯温泉 硯川ﾎﾃﾙ
7:30　8:35-55　10:35-50　11:50-14:00　16:26頃着
(登山口と下山口に車各1台配車)

8/11[水] 起床＝＝ﾎﾃﾙ発＝＝一ノ瀬(聖平上)登山口----小三郎小屋跡----ｱﾗｲﾀﾞ沢----中間点----のっきり
5:00　6:05　6:42-48　6:58　7:21-25　8:08-16　8:52-9:00
[昼食]　(この間、休憩5分*3回)　[ｺｰﾋｰﾌﾞﾚｲｸ](ｺﾞﾝﾄﾞﾗ)(車回収)
----岩菅山山頂----のっきり----------金山沢ノ頭----東館山山頂駅＝＝＝**発哺温泉**＝＝＝硯川ﾎﾃﾙ
9:50-10:34　10:58-11:05　12:34-37　13:38-14:15　14:30-14:54　15:13頃着
(買い物)　[昼食]

8/12[木] 起床＝＝硯川ﾎﾃﾙ＝＝道の駅山ノ内＝＝善光寺＝＝諏訪湖SA＝＝談合坂SA＝＝厚木
6:00　8:30発　9:00-9:40　10:40-12:20　13:54-14:56　16:21-17:37　19:00頃帰着

コースの概要、特記事項、反省事項等

このところ日本列島各地で猛暑日が続いており、五色ヶ原・薬師岳山行実施予定の 8 月 9 日週も好天が続く予報となっていたが、日本の南海上に発生した台風４号により一気に雲行きが怪しくなってきた。それでも出発日前日の現地立山町の天気予報は“曇り時々晴、降水確率：30-40%”となっており、何とか実施できる前提で全ての準備を整えていた。出発日当日(8/9)は 22:30 発の夜間高速バスに乗車予定であったが、その当日の朝、ＭＹさんより、「台風が北アルプスに最接近すると予想される 8/12 は薬師岳を越える計画となっており、森林限界以上の稜線歩きで、エスケープルートもない。ひと風吹けば歩けないことも想定される状況であり、中止について検討してはどうか…」との提案があった。参加メンバー全員に図り急遽検討を行なった結果、台風接近のリスクを背負って強行するのは、安全第一をモットーとする TTC の基本的スタンスに反するとの考えに立ち、参加者全員の合意のもと中止とする結論に至った。予約していた高速バス、山小屋、タクシーのキャンセルの手配を至急取るとともに、何名かのメンバーより上がった「折角準備をしたこともあり、場所を選んで代替山行を考えることはできないか？」との声に対応すべく、MYさんに率直に相談(∵CL はこのような突発的な要望に応えられる Flexibility を持ち合わせていない) したところ、“天候に対し臨機応変に対応でき、今から宿が取れることを条件”とした代替案を僅か 5 時間ほどでまとめ上げるという超人的な離れ業で対応していただいた。参加メンバー全員の賛同をいただき、7 名全員で岩菅山(長野県)および草津白根山(群馬県)にマイカー2 台に分乗して向かうことになった。

1日目(8/10)は、志賀高原 熊ノ湯温泉までの移動日であり、談合坂SAで落ち合った。途中で小布施ハイウェイオアシスに立ち寄って、12個800円のもぎたての桃を買い込んだ。これが今後2日間、夕食後の楽しい談笑のつなぎ役となってくれた。昼食は小布施で美味しい蕎麦を賞味し、市街地をゆっくり観光して、本日の宿泊地である志賀高原 熊ノ湯温泉に向かった。時間的に余裕があることもあり、翌日の登山口と下山口の状況確認を行ない、計画では発哺温泉から岩菅山経由一ノ瀬に下る反時計回りコースであったが、岩菅山登山口から時計回りで発哺温泉に下る、40分ほど歩行時間を短縮できるコースに変更することとし、また、当日の朝に2台の車を登山口と下山口に配車することにより効率的に動くことが可能なことを事前に確認した。ホテルには16時頃に到着したが、丁度その頃からにわかにかき曇り、稲妻とともにスコールのような大雨となって何発もの落雷音が響き渡り、明日は早朝出発で、早目々々に行動しようと決心させてくれた。

2日目(8/11)は、6時にホテルを出発し、10時少し前には山頂でかなり早目の昼食となった。このような日に岩菅山に登る人はいないのか、登山口から頂上までの間に誰とも出会うことなく、頂上はTTC7名で貸切り状態であった。山頂付近は残念ながらガスにスッポリとおおわれてほとんど眺望が効かない。「晴れていれば北アルプスの山々を望むことができるのに…」と思いつつ昼食を摂っていると、岩菅山が歓迎の意を表わしてくれたのか、一瞬の風が雲を払い飛ばしてサービス満点の眺望を提供してくれた。雲行きによっては登山口までピストンで戻る案もあったが、天候にも恵まれ時間的にもかなり余裕があったので、予定通り東館山に向かい、ここからゴンドラで発哺温泉に下山することにした。尾根道を軽快に歩いていると昼過ぎ頃から2度にわたり雨に見舞われた。それほど強い雨脚ではなく雨傘で対応可能なレベルであったが、このような尾根道で昨夕のようなカミナリに遭遇したらたまらないとの思いから歩く速度がついつい早くなってしまったが、幸いにも1時間ほどで雨は遠のいて行ってくれた。下山路の尾根道や草原には多くの花々が咲き乱れ心を和ませてくれた。カメラマンの力作が楽しみである。ホテルに帰着後翌日の天気予報をテレビで確認すると、台風4号は当初の予測よりやや東側に向きを変えており、12日の北陸や中部地方には雨や雷のマークが立ち並んでいることから、草津白根山の登頂は諦めることにして、気分はゆったりと温泉に浸かった観光モードにドンドン切替っていった。

3日目(8/12)の早朝は、本当に台風が近づいているのかと思わせるほど青空も見える爽やかな空模様であったが、食事を済ませて出発する頃には予報通り雨が降り出してきた。同宿の方で山を目的に来られた方が恨めしそうに空を見上げていたが、我々は既に観光モードに切替っているので、慌てることもなくルンルン気分である。山ノ内町の道の駅に立ち寄ると、とにかく安くて新鮮な野菜や果物が目白押しに置いてある。この週末にお盆で里帰りのお土産にとかで、ほとんどの人がシコタマ買い込んだが、マイカーのメリットを存分に発揮して、この対応には全く問題がない。「この道の駅に寄ることができただけでも、今回の山行に参加した価値があった…」というような声もあがり、山とは関係ないところでも代替の計画を立てていただいたＭＹさんの株は右肩上がりに上昇の一途であった。本日の観光の目玉である善光寺にお参りし、名物の蕎麦をもう一度堪能して信州路を後にした。平日ではあるが世の中は帰省ラッシュのピークで、中央高速道上り車線も談合坂ＳＡ～相模湖ＩＣの間で多少渋滞したが完全に止まってしまうようなこともなく、19時頃に厚木に無事帰着した。

【反省点、気づき】

・結果として台風の影響で中止となってしまったが、『五色ヶ原、薬師岳山行』は初めてのビッグ山行立案であった。通常の山行とは異次元の大変さ、難しさを感じたが、この経験を今後に少しでも活かすことができればと思う。言われてみて初めて気がついたが、私以外の6名の参加メンバーは全て百名山完登の大ベテランばかりであり、山歴4年の私がCLでは荷が重過ぎて神風(=台風)が吹いたのかもしれない。

・もし今回、薬師岳山行を決行していれば2泊目の山小屋で足止め(沈殿)になった可能性が高く、中止の判断は間違っていなかったと確信する。しかしながら、例えば台風直撃というような明らかな条件下での中止や撤退の判断に迷いはないものの、判断材料が中途半端であればあるほど、決断が難しくなるであろうことを改めて実感させられた。

・中止を決断した際に、参加メンバーから直ぐに「代替案はないか？」との声が上った。MY さんの全面的なお力添えによって、たちどころに代替案が作成され実施につながったが、できれば計画立案時にこのようなケースも想定して準備できれば理想的であると感じた（正直言ってかなりハイレベルであり、非常に難しいと思われるが…)。

・代替山行であり、また、3日目が雨模様であったことから草津白根山登山を中止したこともあって、全体的に温泉旅行気分のゆったりとした時間が流れたが、「たまにはこのようなのんびり山行も悪くない」と感じた。

-- 以上 --